

島根県東部の地震（続発事例）

気象庁の報道発表資料

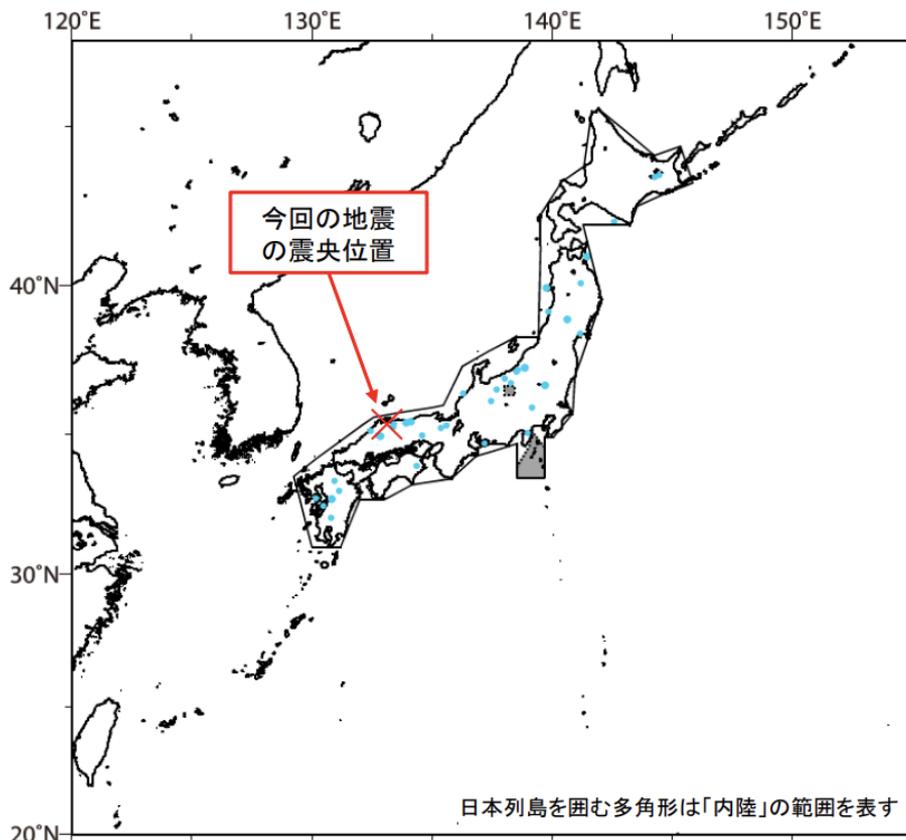
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2601/06a/kaisetsu202601061125.pdf> より抜粋

震源周辺における規模の近い地震の続発事例について

（参考資料）

大きな地震発生後に規模の近い地震が続発した過去の事例 （内陸地殻内）

1923年～2016年6月、内陸で発生した深さ0～30km、マグニチュード5.0以上、規模の差が0.5以内もしくは同規模以上の地震が発生した地震を●で表示



■日本全国での過去の事例

内陸の浅い場所で発生した大きな地震の場合、過去には規模が近い地震が続発した事例があります（左図の●及び灰色の領域）。また、まれに、発生した大きな地震よりも、より規模の大きな地震が発生した事例もあります（563事例中、35事例で全体の6%）。

■今回の地震の周辺における過去の事例

今回の地震の周辺では、1990年に鳥取県西部で発生したM5.1の地震の1分後にM4.8の地震が、2.3日後にM5.2の地震が、10.4日後にM5.1の地震が発生した事例があります。

規模が近い地震が続発した過去の事例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」報告書による。